

取扱説明書

Twin Motor System

POWERD BY **alpha tackle**

DUALMAX 500 MSP

More Speed, More Power

このたびは、当社の電動リールをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
また、リール同様大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

もくじ

1. 安全上のご注意 ----- P1	6. コントロールボックスの説明 ----- P7	8. 操作方法	* 棚モード ----- P21～22
2. お取扱上のご注意 ----- P2～3	7. ご使用前の準備	* 船べり自動停止 ----- P15～16	* 底モード ----- P23～24
3. リールのお手入れ方法 -- P4	* 電源の接続方法 ----- P8	* 水面0セット ----- P17～18	* 高切れ修正 ----- P25
4. 主な機能と特長 ----- P5	* ラインデータ入力方法 ---- P9～14	* 糸出機能 ----- P19	9. セイフティー機能 ----- P26～27
5. 各部の名称と機能 ----- P6		* 電動巻上と変速方法 -- P20	10. 故障かな?と思われた時 -- P28
			11. パーツリスト ----- P29～30

安全上のご注意

● ご使用前に必ずお読みください。 ●

⚠ 警告



- レベルワインドと本体の間に指をはさまないように注意してください。

⚠ 注意



- 糸が勢いよく出ている時は、糸をつかまないでください。糸で指を切ることがあります。
- リールを釣り以外の目的で使用しないでください。
- リールの回転部分には、グリスや油が付いていますので、服をよごさないように注意してください。



- 回転している時、回転部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。
- ハンドルの逆転ストッパーが働いていることを確認してからモーターを駆動させてください。



- バッテリー、船電源の所定電圧(12V)以外を使用しないでください。所定の電圧以外を使用すると、発熱でのヤケドや、電子部品が破損する恐れがあります。



- 分解・改造などはしないでください。故障や事故につながる原因となります。



- 水の中に浸けて洗わないでください。

お取扱上の注意

1 電源について

電源は、直流 (DC) 12V 対応です。

指定外の電源 (家庭用の交流 100V、船電源の直流 24V など) は、使用できません。

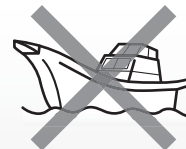
- 容量の小さいバッテリーは、電圧の降下が多く、電動リールの性能を十分に発揮できないことがあります。10 Ah 以上のバッテリーをおすすめします。
- 船の 12V 電源は、発電機や配線の状態によって電圧が不安定になりやすく、リールの保護回路が働き、安定した性能が発揮できなくなったり、動作が停止したりする場合があります。電動リール専用のバッテリーのご使用をおすすめします。
- 十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
- 端子部のサビなどで、通電不良になり正常に作動しない場合があります。サビなどを取り除いてご使用ください。



DC12V



AC100V



DC24V

● 出発前に確認してください。 ●

- バッテリーは、長時間放置されると自然放電により、容量が低下している可能性があります。釣行前には、必ず充電を行ってください。
- 船の電源には、電圧、接続端子形状などにより使用できないことがあります。事前にご確認することをおすすめします。

お取扱上の注意

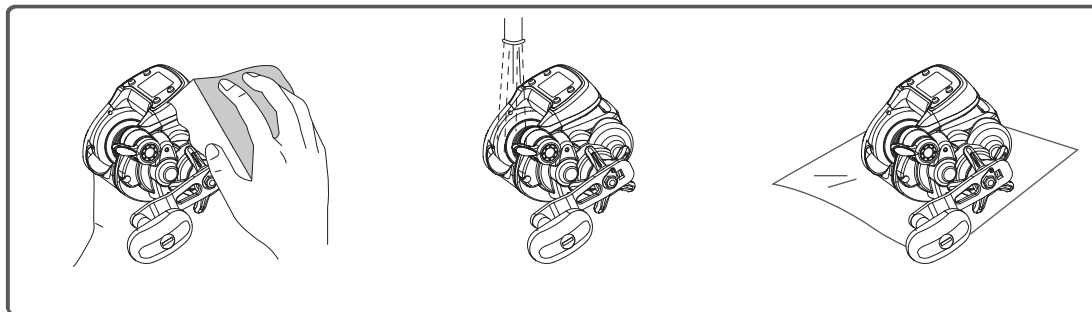
2 電源コードについて

- 電源との接続は、必ず付属の電源コードをご使用ください。
付属(純正)以外の電源コードや接続部の改造等を行った電源コードを使用されると、
リールが正常に作動しない場合があります。
- 電源コードは、乱暴に扱わないでください。
リールに巻きつけたり、踏みつけたり、折り曲げたりすると、故障(断線)の原因になります。
- ご使用後は、水に浸した布で汚れを拭く取り、乾かせて保管ください。
(水の中につけて洗うことは、おやめください)
- 保管時は、リールから抜いた状態で保管してください。
- コードを抜く時は、必ずコネクタ部を持って抜いてください。
- コードの上に重いものを乗せたり、結んだりする行為はおやめください。

3 リール本体について

- 根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないでください。
布等で手を保護して糸をつかんで切るようにしてください。。
- 落下等による強い衝突を与えないようにていねいに取り扱ってください。
- 船の竿立てに収める時は、リール後部及び電源コードに衝撃を与えないよう注意ください。

リールのお手入れ方法



1 リール本体を洗剤を含ませたスポンジ布等で汚れを落として下さい。

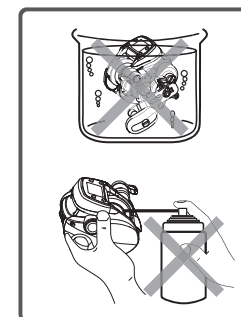
2 水をかけて洗剤と汚れを落とします。
スプール部へも水をかけて塩分を落としてます。

3 よく水を切って、陰干しで乾燥させてください。



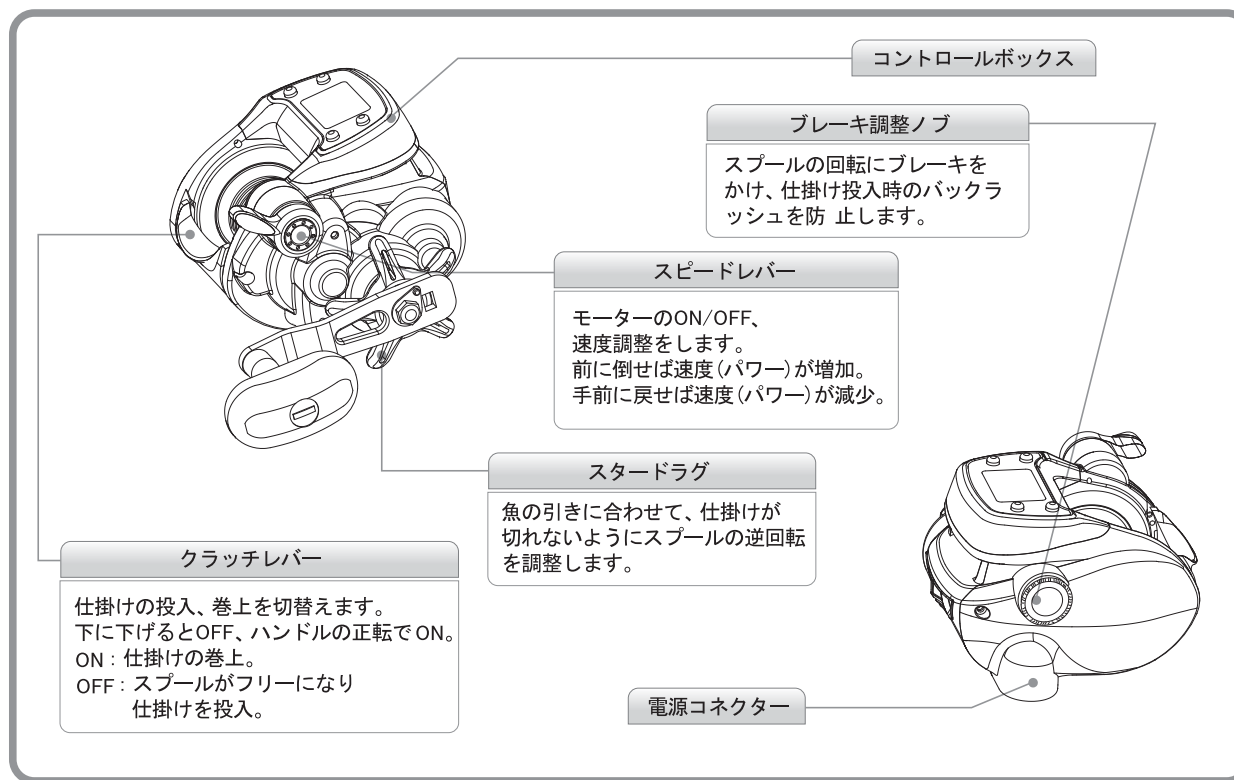
ご注意

- 洗剤は、中性洗剤をご使用ください。
- 水に浸けて洗うことは、おやめください。
- 高温、高湿の状態が長時間放置されると、変形や強度劣化の恐れがあります。
- 洗浄後は、風通しの良い、高温・高湿にならない場所で保管してください。
- ドラグ部分には絶対オイル等を注油しないでください。ドラグ力の低下や作動不良の原因になります。
- コネクター部の保護のため、リールをご使用にならない時はコネクターキャップをしてください。

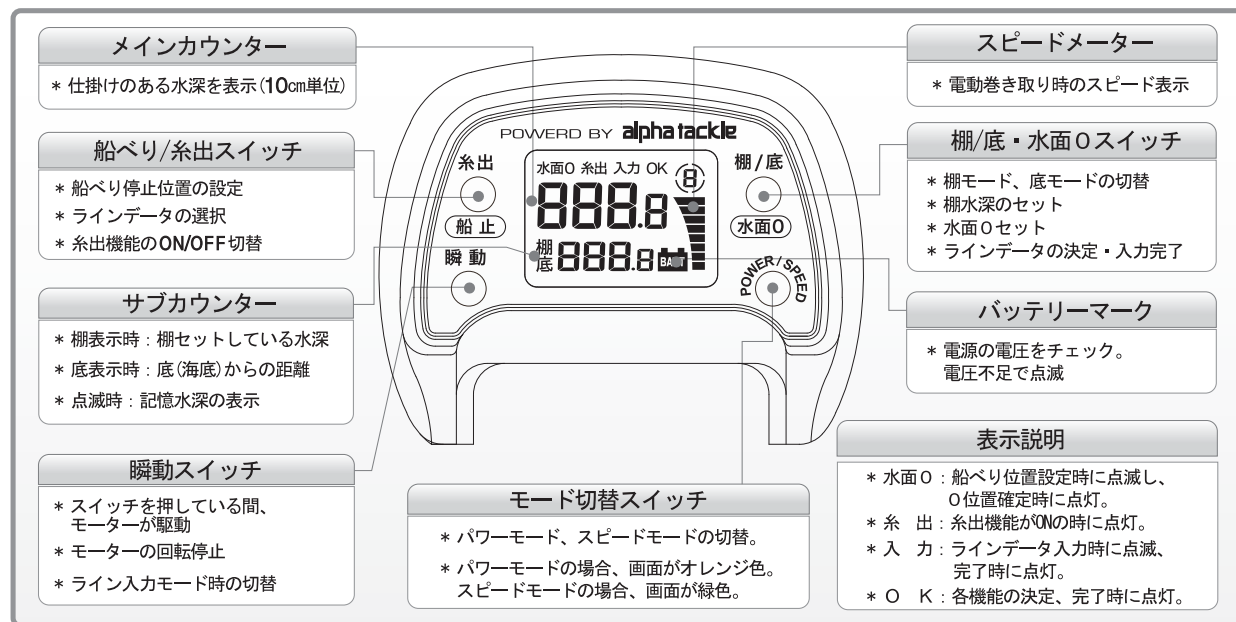


主な機能と特長

スピードレバー	電動の ON/OFF 及び巻上スピード(パワー)の調整が可能
パーフェクトドラグ	滑り・パワー・耐久性に優れたカーボン素材を採用。
瞬動	スイッチを押している間、モーターが回転します。糸ふけ取りや誘いに便利。
船べり自動停止	竿、仕掛けに合わせた船べりでの停止位置を設定可能。仕掛けが、元に戻ってきます。
水面0セット	水面の位置を 0m に設定。より性格な棚あわせが可能。
糸出	仕掛け投入時、モーターによるスプール回転をアシストし、より早く狙った棚へ仕掛けを落下。
棚セット	魚の釣れた水深を記憶して、アラームでお知らせ。
自動棚記憶	魚の釣れた棚を巻上後に確認・セットが可能。
底モード	底(海底)からの仕掛けの位置を表示します。
高切れ修正	道糸が切れた場合、ラインデータの修正を行います。
巻上モード	大物対応にはパワーモード、仕掛けの回収はスピードモードで対応。



コントロールボックス各部の説明



ご注意

- ① 図は、説明のため液晶画面を全点灯状態にしています。
- ② カウンタ表示は、-10度以下及び60度以上の場合、液晶の特性上、文字が見えにくくなる事があります。ご了承ください。

電源との接続

- ❶ 電源コードのクリップをバッテリーに接続してください。
赤クリップを(+)側端子へ、黒クリップを(-)側端子に接続します。(図1)
 - ❷ 電源コードのプラグ部の凹部とリール本体のコネクターの凸部を合わせて奥まで差し込み、ネジリングでしっかりと締めてください。(図2)
 - ❸-1 正しい接続が行われると、連結アラーム音が鳴り、セッティング画面が表示され、図3の表示となります。
(デモモード：ラインデータが未入力の状態)
 - ❸-2 ラインデータの入力が行われている場合は、セッティング画面の後、図4の表示になります。
 - 図4の状態では立ち上がった時、バッテリーマークが点滅していますが、電圧がOKであれば、5秒後に消去します。バッテリーマークが消去しない場合は、バッテリーの電圧が低下しています。交換するか、充電を行ってください。
 - 図4の状態(ラインデータ入力済)の状態では立ち上がった場合は、安全のため、船べり停止水深表示(5m)までは、スピードレバーでの巻上はできません。**瞬動**スイッチでの巻上は可能です。
- * 船べり設定をしていない場合は船べり停止水深表示は5mに設定されています。
- * 5m以上の水深表示にすれば、スピードレバーでの巻上が可能です。

図1

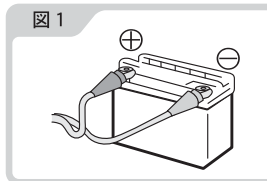


図2

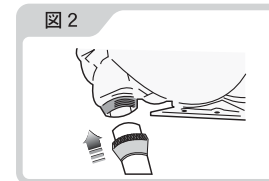


図3

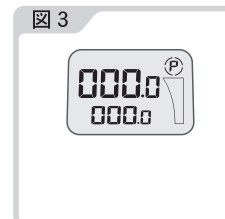
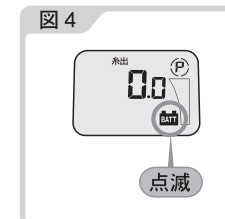


図4



ご注意

- * 一度電源に接続すると、バックアップ機能が働きます。
10分以内再接続の場合は、セッティング画面は表示されませんが、問題ありません。

ご使用前の準備

ラインデータの入力方法-A

- 入力されたラインデータを利用する場合。

* このリールには、下記の6つのラインデータが用意されています。

PE4-400m PE5-200m PE5-300m PE6-200m PE6-300m PE8-200m

- ① 糸をレベルワインドに通し、スプールに結んでください。
- ② 電源の接続を行い、図5の表示画面になったことを確認してください。
(ラインデータが入力されている場合は、表示が異なります)
- ③ 棚/底・水面0 と 船べり/糸出 スイッチを同時に3秒押してください。
図6の表示になります。
- ④ 船べり/糸出 スイッチを押して巻かれる糸の号数と長さを選択してください。
スイッチを押す毎に表示が変わります。(図7)

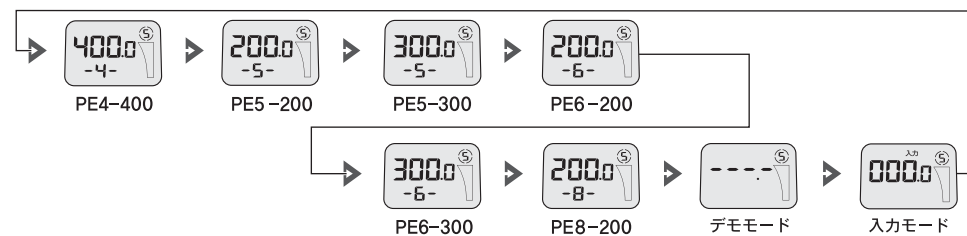
図5



図6



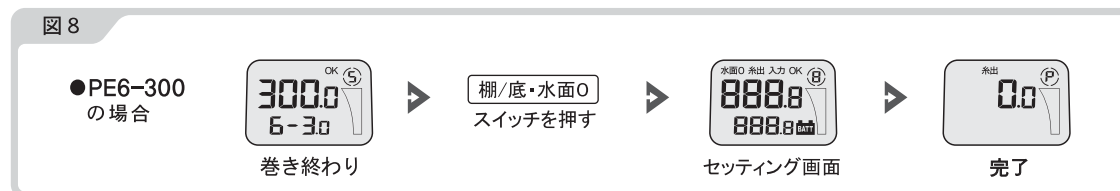
図7



ご使用前の準備

- ⑤ 巻かれる糸と選択したラインデータがあっていることを確認してスピードレバーを操作して糸を巻きます。
- ⑥ 選択されたラインデータの15m手前で自動的にモーターが停止します。停止後は、ハンドルか[瞬動]スイッチで残りの糸を巻き取ってください。(糸を巻き込まないように注意してください)
- ⑦ 巻き終わったら、[棚/底・水面0]スイッチを押して入力完了です。画面表示が図8のように変化します。

図 8



ご注意

- ① 図6の表示になると、スピードモード(緑色画面)に切替わります。
- ② 糸を巻くときには、1～1.5kgのテンションで巻いてください。
- ③ デモモード選択画面で、[棚/底・水面0]スイッチを押すと、設定されたデータは消去され、デモモード(出荷状態)になります。
- ④ 途中で間違えた場合は、一度[棚/底・水面0]スイッチを押して完了させた後、再度最初からやり直してください。
- ⑤ 水深表示精度は、±3%以下となっていますが、糸巻状態、糸の伸縮等により誤差が大きくなる場合があります。

ご使用前の準備

ラインデータの入力方法 - B

- 糸の種類・号数がわかっている時に利用します。
 * 入力可能なラインの種類と号数。PE-4号・5号・6号・8号、ナイロン(フロロ)-5号・6号・7号
 * 上記以外のラインは、入力できません。
- ① 糸をレベルwindに通し、スプールに結んでください。
- ② 電源の接続を行い図9のような画面表示になったことを確認ください。
 (ラインデータ入力されている場合は、表示が異なります)
- ③ 棚/底・水面0 と 船べり/糸出 スイッチを同時に3秒押してください。
 図10の表示になります。
- ④ 船べり/糸出 スイッチを押して、入力モードにします。(図7、図11参照)
- ⑤ 瞬動 スイッチを押して、巻き取るラインの種類・号数及び下巻きの有無を選択してください。
 スイッチを押す毎に、表示が変わります。(図12)

図9



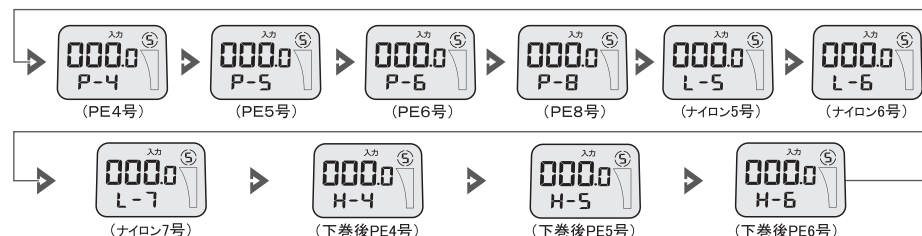
図10



図11



図12



ご使用前の準備

- ⑥ セットされた糸と選択した表示が合っている事を確認してスピードレバーの操作で糸を巻きます。
- ⑦ 巻き終わったら「棚/底・水面0」スイッチを押してください。
図13のように画面が変化すれば、入力完了です。糸の巻き込みに注意してください。

図 13



ご注意

- ① 糸を巻くときは、1～1.5kgのテンションで巻いてください。
- ② 途中で間違えた場合は、一度「棚/底・水面0」スイッチを押して完了させた後、再度最初からやり直してください。
- ③ 水深表示精度は、±3%以下となっていますが、糸巻状態、糸の伸縮等により誤差が大きくなる場合があります。
- ④ エラー表示「-EI-」が出た場合は、糸の巻き取り量が不足しています。50m以上巻いてください。
- ⑤ 「-SE-」のエラー表示の場合は、修理が必要です。お買い求めの販売店へ修理依頼をお願いします。

-EI-

糸の長さ不足

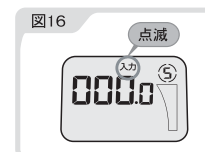
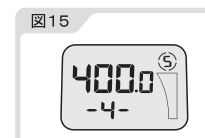
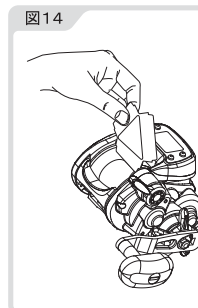
-SE-

スプール回転検出不具合

ご使用前の準備

ラインデータの入力方法－C

- 下巻き後ラインデータを入力する場合
 - * 下巻き後に入力できる糸の種類と号数は、PE-4号・5号・6号の3種類です。
 - * 下巻き位置の目安は、「下巻カード」(図14)を使用して確認ください。
 - * 下巻き後に巻き取れる糸巻量は、PE-6号・5号が約200m、PE-4号が約300mです。
- ① 下巻用の糸をレベルwindに通し、スプールに結んでください。
 - ・スプール面での糸滑り防止のため、「糸止めピン」に糸を結んでください。
- ② 電源の接続を行い、下巻き用の糸を巻きます。
 - ・下巻カードを使用して、使用する上巻糸に対応した下巻き位置を確認します。
- ③ 下巻き完了後、上巻糸を結びます。
- ④ 棚/底・水面0 と 船べり/糸出 スイッチを同時に3秒押してください。
図15の表示になります。
- ⑤ 船べり/糸出 スイッチを押して入力モードにします。(図7・図12・図16参照)
- ⑥ 瞬動 スイッチを押して、下巻き後の糸の種類と号数の表示を選択します。(図17)



ご使用前の準備

- ⑦ スピードレバーの操作で糸を巻きます。
- ⑧ スピードレバーをOFF位置に戻して巻取りを終了させ、**棚/底・水面0**スイッチを押して入力完了です。画面表示が、図18のように変化します。

図18



* カウンター内の数値は例として表示しています。
実際に巻かれた場合に同じ数値を示すわけではありません。



ご注意

- ① 糸を巻くときは、1～1.5kgのテンションで巻いてください。
- ② 途中で、間違えた場合は、一度**棚/底・水面0**スイッチを押して完了させた後、再度最初からやり直してください。
- ③ 水深表示精度は、±3%以下となっていますが、下巻の位置や、糸巻状態、糸の伸縮等により誤差が大きくなる場合があります。

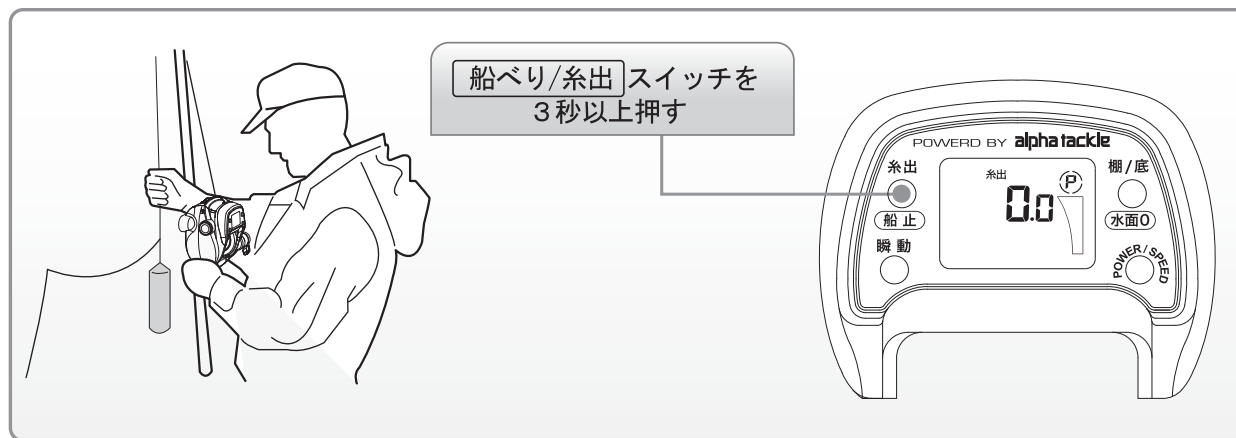
操作方法

1 船べり自動停止

- 竿を立てると、仕掛けが手元の高さになるように電動巻取りの停止位置を設定します。
- 停止位置の5m手前から1mおきにアラームでお知らせします。

操作手順 ①：リールから糸を出して、仕掛けをセットした後、電源を接続します。

操作手順 ②：仕掛けが手元にくるように糸の長さを調節します。



操作方法

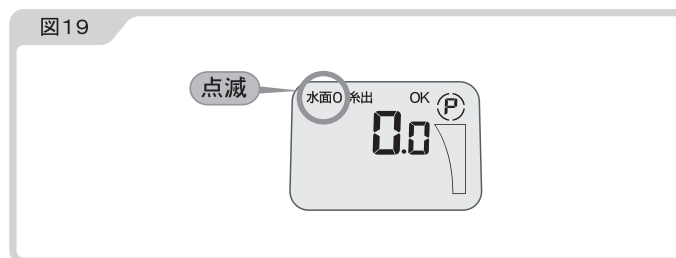
操作手順 ③: **船べり/糸出** スイッチを3秒以上押します。

アラームがなり、画面表示が図19のようになれば、停止位置の設定間完了です。

*この時、水面0が点滅します。水面0設定を続けて行うことができます。

*“OK”は、5秒間点灯後消去します。

図19



ご注意

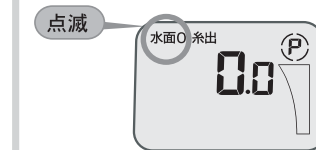
- ① 船べり設定を行わずに仕掛けの投入を行うと、船べり停止位置は5mになります。
- ② 糸に掛かる負荷により糸が伸縮して停止位置がずれることがあります。その際には再設定を行ってください。
- ③ 水面0点滅中に水面0設定を行わずに仕掛けを投入して釣りを行っても問題ありません。
カウンター表示10.0以上で自動的に**水面0**は消去します。

操作方法

2 水面 0 設定

- 正確な棚取りを行うために、水面の位置を 0.0 として設定します。
- * 船べり停止位置の設定完了時、
画面表示に「水面 0」が点滅しています (図 20)
- 操作手順 ①: 竿を前に出し、
仕掛けが水面にくるようにハンドルで調節します。
- * 仕掛けを水面まで巻き上げると、
水深表示は -0.0 になります。

図 20



操作方法

- 操作手順 ②: 柵/底・水面 0 スイッチを押してください。その位置が水面 0 位置になります。
画面表示の水面 0 が点滅から点灯に変わり、OK 表示が点灯。(図 2 1)
* 水面 0、OK 表示は、メインカウンタ 10.0 以上で自動的に消去されます。

図 2 1



ご注意

- ❶ 水面 0 の位置は、船べり停止位置ではありません。

操作方法

3 糸出機能

- 仕掛けを早く落下させるためモーターの回転でアシストします。
* 電源接続は、糸出機能が作動するON状態になっています。

動作説明

- ① 仕掛けを投入し、水深表示が船べり停止位置より10m以上になると、自動的にモーターが回転します。
- ② モーターの回転中にスプールの回転が停止したり、逆回転(巻取り方向)した場合は、モーターの回転を停止します。(バックラッシュ防止)
- ③ 再度、糸出し方向にスプールが回転すれば、モーターは回転を再開します。
- ④ 棚セットしている場合は、セットした水深の5m手前でモーターの回転は停止します。

糸出機能を解除 (OFF) する方法

- 船べり/糸出スイッチを押してください。
画面表示の「糸出」が消去します。(図22)
* 再度、糸出機能をONにする場合は、
船べり/糸出スイッチを押してください。
画面表示の「糸出」が点灯します。(図23)



ご注意

- ① スプール回転の停止や逆回転で、モーターの回転を停止するようになっていますが、多少のタイムラグがあります。
- ② 糸出ONで、モーターが回転しているとき、クラッチをONにすると糸を巻き込むことがあります。

図 22



糸出 OFF

図 23



糸出 ON

操作方法

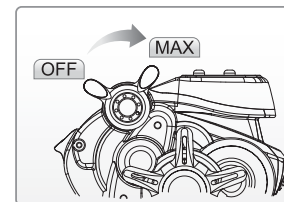
4 電動ONと変速

● モーターの起動と変速調整

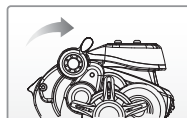
操作手順 ① : スピードレバーをOFF位置から前方に倒してください。

* 巻上を開始する時、スピードレバーがOFF位置にない場合は、
レバーを一度OFF位置に戻してから操作してください。

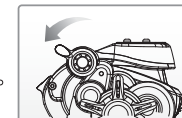
操作手順 ② : スピードレバーを前後に動かすことで変速(パワー)調整できます。



* スピードレバーを前に倒せば、
スピード(パワー)がアップします。



* スピードレバーを手前に戻すと、
スピード(パワー)がダウンします。



! ご注意

- ① 船べり停止後は、巻き込み防止のためスピードレバーでのモーター起動はできません。**瞬動**は、操作可能です。

5 巻上げモード

- この電動リールは、モードスイッチを押すことで、スピードモード・パワーモードに巻上げを切り替えることができます。

操作手順 ① : **Power/Speed** スイッチを押すと、モードが切り替ります。

操作手順 ② : パワーモード(画面がオレンジ色)の場合は、スピードモードになり、スピードモード(画面が緑色)の時は、
パワーモードに切り替ります。

! ご注意

- ① モーター回転中にモードを切り替える時、スムーズな切り替えを行うために、数秒間2つのモーターが駆動します。

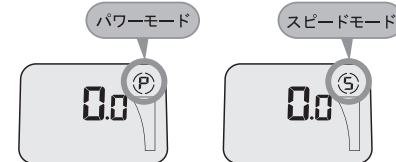
操作方法

● パワーモード

- * 大物とのやりとりなど、巻上スピードよりも巻上力が必要な場合に有効です。
- * 液晶画面のバックライト (LED) が、オレンジ色になります。

● スピードモード

- * 仕掛けの回収等、巻上力よりもスピードを重視する場合に使用します。
- * 液晶画面のバックライト (LED) が、緑色になります。
- * スピードモードで巻上げ中に、負荷が大きくなると、自動的にパワーモードに切替ります。
(負荷が軽くなっても自動でスピードモードには戻りません。モードスイッチを押してスピードモードに切り替えてください)



! ご注意

- ① スピードモードで仕掛けの回収中でも、波や潮の影響で負荷が大きくなる場合には、パワーモードに切り替る場合があります。
- ② スピードモードでの巻上中、船べり減速区間 (船べり停止水深3m前) は、自動的にパワーモードに切り替ります。
- ③ 船べり減速区間は、スピードモードに切り替える事は、できません。

6 棚モード

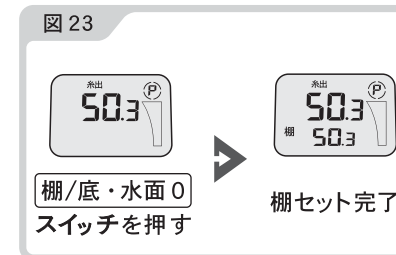
- 魚のいる水深 (棚) を記憶し、アラームでお知らせします。

操作手順 ① : 仕掛けを投入し、棚で仕掛けを止めます。

操作手順 ② : 棚/底・水面 0 スイッチを押します。棚セット完了です。

* メインカウンターの水深が、サブカウンターに表示されます。(図 23)

* 次回からの投入時、棚の5m手前からアラームで お知らせします。



操作方法

自動棚記憶

- 仕掛けを巻上げた後で、魚の釣れた水深を棚セットする場合。

操作手順 ①：仕掛けを巻上げます。

* メインカウンターの表示が 10.0 未満になると
サブカウンターに水深が点滅します。(図 24)
(点滅している水深は、最深部、または、5 秒以上停止した水深)

操作手順 ②：水深が点滅している時に **棚/底・水面 0** スイッチを押すと、点灯に変わり棚セットされます。(図 25)

図 24

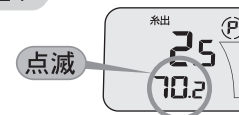


図 25

棚/底・水面 0
スイッチを押す



* 点滅中に **棚/底・水面 0** スイッチを押さずに仕掛けを
10m以上出した場合、

- ① 前に棚セットしていれば、前の棚セット水深が表示されます。
- ② 棚セットをしていなければ、消去されます。

棚モードの解除

- **棚/底・水面 0** スイッチを 2 秒間以上押すと、底モードに切替ります。(図 26)

* 棚セットされた水深は消去されます。

* 再度、棚モードに切替える場合は、**棚/底・水面 0** スイッチを 2 秒間以上押してください。

* **棚/底・水面 0** スイッチを 5 秒間以上押すと、棚・底量モードを解除できます。



ご注意

- ① 10m未満の水深での棚セットは行えません。
- ② モーター回転中の棚セット、解除は行えません。

図 26



棚モード



棚/底・水面 0

スイッチを 2 秒以上押す



底モード

操作方法

7 底モード

- 底(海底)から仕掛けまでの距離を表示します。

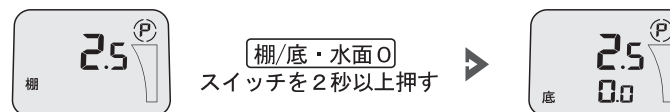
サブカウンターに「棚・底」の表示が出ていない場合。

- 操作手順 ①: 「棚/底・水面0」スイッチを押します。(図27)
- * サブカウンターに「棚」と表示されます。
(メインカウンター表示が10m以上あれば、棚セットされます。)
- 操作手順 ②: もう一度、「棚/底・水面0」スイッチを2秒以上押してください。
- * サブカウンターに「底0.0」と表示されます。(図28)

図 27



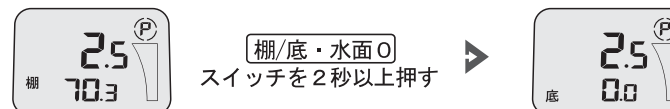
図 28



サブカウンターに「棚」表示が出ている場合。

- 操作手順 ①: 「棚/底・水面0」スイッチを2秒以上押してください。
- * サブカウンターが「棚」表示から「底0.0」表示に変わります。(図29)

図 29



操作方法

底モード使用方法

操作手順 ① : 仕掛けを底(海底)まで落とし、糸ふけを取ります。

* サブカウンターに糸ふけを取った距離が表示されます。(図30)

操作手順 ② : 棚/底・水面0 スイッチを押してください。

* サブカウンターの表示が 底0.0 になります。(図31)

棚/底・水面0 スイッチを5秒間以上押すと、棚・底両モードを解除できます。



操作方法

8 高切れ修正

- オマツリ、フグ等により道糸が切れた場合、ラインデータの修正が可能です。

* 高切れ修正、10m以上の道糸が切れた場合に行います。

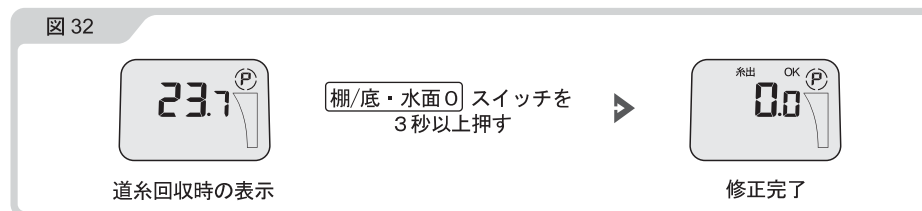
操作手順 ①：道糸を回収し、仕掛けを結びます。

操作手順 ②：[船べり/糸出]スイッチを3秒以上押してください。(修正完了)

* アラームが鳴って、メインカウンターの0.0になります。(図32)

* サブカウンターにOK表示が出ます。

図 32



* 高切れ修正後、[船べり停止位置] [水面0] の再設定を行ってください。



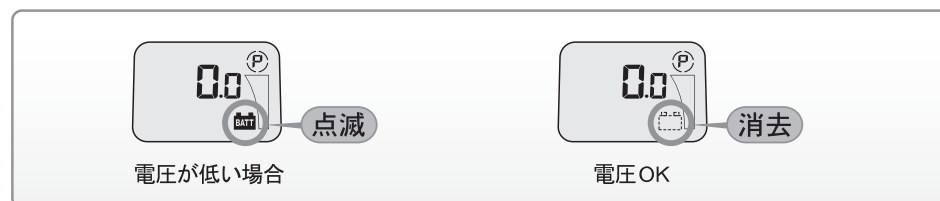
ご注意

- ① 高切れ修正後、船べり停止位置の設定を行わないで仕掛けを投入すると、船べり停止位置は、5mになります。

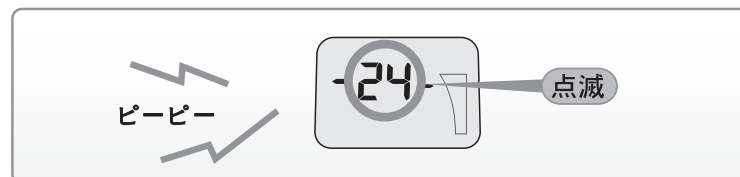
便利な機能(セーフティ機能)

1 バッテリー(電源)チェック

- 電源接続時にバッテリー(電源)の電圧をチェックします。
- ① 電圧がOKであれば、点滅しているバッテリーマークが5秒後に消去します。
- ② 電圧が低い場合は、バッテリーマークは点滅のままです。
* バッテリーを交換するか、再充電を行ってください。



- ③ 電源の電圧がリールの使用可能範囲より高い場合、アラームと画面表示で警告します。その電源の使用をおやめください。



便利な機能（セーフティ機能）

2 メモリーバックアップ

- 釣りをしている時、不意にコードやクリップが外れても、安心です。約10分間は、水深情報等のデータは記憶されています。



ご注意

- ① 電源が外れた状態でラインの放出・巻取りを行わないでください。カウンター誤差につながります。



3 過負荷制御（ブレーカー）

- モーターに過負荷が掛かった場合、モーターを保護するためブレーカーが作動し、モーターを停止します。アラームが鳴ります。
- スピードレバーを一度OFF位置に戻してからレバーを操作すれば、復帰します。
- スピードモードでのブレーカー作動はありません。負荷が大きくなると自動的にパワーモードに切替ります。



ご注意

- ① 復帰される場合は、負荷を軽減した状態で行ってください。



4 パワーアップシステム

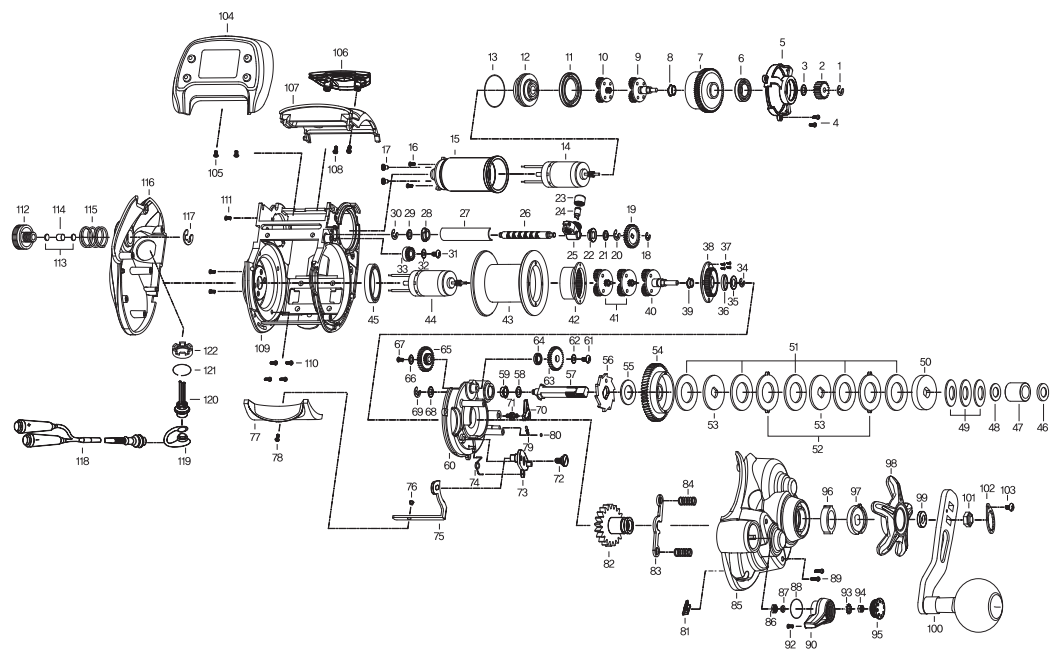
- 低速、中速での巻上げ中に負荷がかかり、スプール回転が停止すると巻上げ速度を維持しようとモーターパワー（スピード）を上げていきます。
- パワーアップ後は、スピードレバーを動かせば、スピード表示に対応した速度に戻ります。

- お問い合わせ、修理を依頼される前に下記の事項をご確認ください。

症状	考えられる原因	確認・対処方法
液晶画面の表示が出ない。	● 電源コードが正しく接続されていない。 ● 電源コードの断線 ● バッテリーの電圧不足。	● 正しく接続してください。 ● 販売店へご商談ください。 ● 充電もしくは他のバッテリーでご確認ください。
カウンター表示の誤差が大きい	● ライン設定の誤り。 ● ラインの伸びによる。	● 再度、ライン入力を行ってください。
電動での巻上げができない。	● 表示が0.0になっている。 ● バッテリーの容量不足。 ● 接続端子が錆びている。 ● 船の電源を使用している。 (配線等の関係で電圧低下している)	● 船べり停止距離以上の水深表示にしてください。 ● 充電もしくは、他のバッテリーで確認ください。 ● 錆を落として確認ください。 ● 専用バッテリーでご確認ください。

* 以上の確認を行っても、正常に戻らない場合は、故障内容をできるだけ詳しく書いていただき、
お買い求めの販売店に修理依頼をお願いします。

パーツリスト



Key No.	Parts Name	Key No.	Parts Name	Key No.	Parts Name	Key No.	Parts Name
1	リテイナー	32	ワッシャー	63	連結ギヤーA	95	レバーキャップ
2	ピニオンギヤー	33	マグネットギヤー	64	ボールベアリング	96	カラー
3	ワッシャー	34	リテイナー	65	連結ギヤーB	97	クリック部組
4	スクリュー	35	ワッシャー	66	ワッシャー	98	スタードラグ
5	ギヤーホルダー	36	ボールベアリング	67	スクリュー	99	ワッシャー
6	ボールベアリング	37	スクリュー	68	ワッシャー	100	ハンドル部組
7	インターナルギヤーA	38	スプールカバー	69	リテイナー	101	ハンドルナット
8	ベアリング	39	ベアリング	70	逆転止め爪	102	ハンドルナットカバー
9	ギヤーシャフトA部組	40	ギヤーシャフトB部組	71	爪軸	103	スクリュー
10	太陽ギヤーA部組	41	太陽ギヤーB部組	72	段付スクリュー	104	コントロールボックス部組
11	ボールベアリング	42	インターナルギヤーB	73	クラッチレバーカム部組	105	スクリュー
12	モーターカバー	43	スプール	74	カムスプリング	106	エンブレム
13	Oリング	44	モーターB	75	クラッチレバープレート	107	フロントカバー
14	モーターA	45	ボールベアリング	76	ナット	108	スクリュー
15	モーターボックス	46	ワッシャー	77	サムバー	109	本体
16	スクリュー	47	ドラグカラー	78	スクリュー	110	スクリュー
17	パッキン	48	ワッシャー	79	爪バネ	111	スクリュー
18	リテイナー	49	ドラグバネ	80	Oリング	112	ブレーキ調整ネジ
19	トラバースギヤー	50	ドラグワッシャーA	81	糸止め	113	ワッシャー
20	リテイナー	51	カーボンワッシャー	82	スプールギヤー	114	ワッシャー
21	ワッシャー	52	ドラグワッシャーB	83	クラッチバー	115	スプリング
22	ブッシュ	53	ドラグワッシャーC	84	コイルスプリング	116	レフトカバー
23	キャップ	54	ドライブギヤー	85	ライトカバー	117	リテイナー
24	レベルワインドピン	55	ワッシャー	86	ナット	118	電源コード
25	レベルワインド部組	56	ラチェット部組	87	ワッシャー	119	防水キャップ
26	ウォームシャフト	57	ギヤーメタル	88	Oリング	120	コネクター部組
27	パイプ	58	ワッシャー	89	スクリュー	121	スプリングワッシャー
28	ブッシュ	59	ベアリング	90	スピードレバー	122	ナット
29	ワッシャー	60	本体カバー	92	スクリュー		
30	リテイナー	61	スクリュー	93	歯付ワッシャー		
31	スクリュー	62	ワッシャー	94	ナット		

alpha tackle

ATEC INC.
株式会社 **エイテック**

[東京営業本部]

〒173-0012 東京都板橋区大和町42-11
TEL 03-3963-8451(代) FAX 03-3963-0776
e-mail tokyo@alphatackle.com

[本社・物流センター]

〒410-0853 静岡県沼津市常盤町3-17-1
TEL 055-963-1711(代) FAX 055-951-5380
e-mail numazu@alphatackle.com